

## 令和7年度川越市提案型協働事業補助金 事業実績報告書

協働事業名称	「仙波の田んぼで季節を感じ、食を味わう」農業振興事業
団体名	仙波の田んぼ緑肥の会
市担当課名	農政課
事業の目的	小さくても密度の濃いコミュニティを形成することを目的とする。
事業の実施内容	<p>4月18日 『春のお米優先予約販売』ネット予約をサポート向けに公開 7人(玄米:30kg8袋)</p> <p>4月19日 せんばマルシェ(仙波氷川神社)出店 来場者:275人(1名:サポート登録)</p> <p>4月27日 『ストロベリーキャンドルの花咲く田んぼであそぼう!』 15名</p> <p>6月28日 せんばマルシェ(仙波氷川神社)出店 来場者:180人</p> <p>9月06日 せんばマルシェ(仙波氷川神社)出店 来場者:175人</p> <p>10月04日 『新米試食会』コシヒカリ・彩のきずな、ゆうだい21を試食 16名</p> <p>『新米予約第1弾』ネット予約をファン&amp;サポートに公開 4人(玄米:30kg4袋)</p> <p>11月16日 せんばマルシェ(仙波氷川神社)出店 来場者:301人(白米:5kg16袋)</p> <p>『新米予約第2弾』ネット予約をファン&amp;サポートに公開</p> <p>12月07日 小江戸川越お米フェス 出店 来場者3000人(玄米換算:540kg)</p> <p>『新米予約第3弾』ネット予約をファン&amp;サポートに公開 予約10kg</p> <p>01月31日 『田んぼでおもちつき会』40人(大人22人、子供18人)精米5kg4袋、白米5kg2袋</p> <p>02月10日 ドローンテスト(飛行、RTK-GNSSのGPS衛星受信テスト)</p>
事業実施時における市との役割分担	【団体】 実際にイベントの実施。
	【市】 イベント開催へのアドバイス提供。 インスタグラムでのPR支援。
事業の成果	<p>小さくても密度の濃いコミュニティを形成することを目標とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年同様のイベントを開催することでファン増加を目指した。</li> <li>・米農家のこだわりを発信することで共感して頂き、安心・安全なお米への信頼を得る。</li> <li>・今年は、仙波のお米を食べてくれるサポートを獲得する。</li> </ul> <p>事業の成果として、 サポーター 7家族 を獲得し、 春と秋の予約で玄米購入者が増えた。</p>
協働事業として継続する場合の課題と対応策	当団体の経験と地元根差した考えに基づく企画力の高さを生かし、他団体と協力したイベント企画を実施したいと考えている。
補助金が終了した場合の当該事業の見通し	3年間での活用により、本コンセプトの可能性に対するモチベーションは高いので、大仙波地域での活動は継続して行えると考えている。 報告会で示した広域での活動(福祉・介護と農業)については、アイデアはあるが、実施については、行政の協力がなければ難しいと考えている。

※様式第8号「川越市提案型協働事業補助金実績報告書」に添付してください。

## 令和7年度川越市提案型協働事業補助金 事業実績報告書

協働事業名称	川越にプレーパークをつくろう事業
団体名	川越にプレーパークをつくろうの会
市担当課名	こども未来部こども育成課
事業の目的	本事業の連続講座を通じて、受講者が屋外での子供の居場所および地域コミュニティづくりの場である「プレーパーク」の活動方針や運営方法、地域での子供の見守り方を学び、将来的に本団体の活動にプレーリーダーや運営スタッフとして参画することを目的とする。
事業の実施内容	「特定非営利活動法人たねの会」が提供する講座を2025年10月から12月にかけて川越市内で全4回(1～3回目:半日、4回目:1日)開催し、川越市民がプレーリーダーや運営スタッフとして活動していくためのノウハウを学んだ。 今年度は去年の受講者をサポートメンバーに加え、新規層に向けてすべて土曜日開催とした。同時に、欠席時のフォローアップのためオンライン・録画受講の環境を整備した。また、託児枠を設けることで、子育て世代の参画の促進を図った。
事業実施時における市との役割分担	<p>【団体】 講座提供団体との連携、事業の周知、地域住民への協力依頼、地域の連携役、講座の運営、保険の加入</p> <p>【市】 広報、市の施策等の情報提供、関係団体への連絡調整、講座・託児会場の確保、講座実施に必要な備品の貸し出し(プロジェクター等)、事業の周知</p>
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の人数は、計11人だった。うち、7人がサポーター会員となり、運営に参画することとなった。</li> <li>・受講者のうち、2人は市内保育園の法人関係者であった。プレーパークを今後市内で推進していきたい旨を共有し、情報交換等を今後行うこととなり、市内ネットワークを形成できた。</li> <li>・託児利用の受講者は3人。全員サポーター会員に加入し、託児を実施したことで現役の子育て世代スタッフ層が厚くなった。</li> <li>・欠席者に対して録画補講を行ったことで、講座内容をフォローアップすることができた。</li> <li>・最終回のプレーパーク開催では、来場者が62人であった。ケガやトラブルなく、かつ来場者の気持ちに沿って遊びを展開することができた。</li> </ul>
協働事業として継続する場合の課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状として、所管課のこども育成課に役割を負担していただいている部分が多い。今後、当会の自立に向けて、こども育成課の負担減を図っていく。具体的には、プレーパーク当日の受付係等。</li> <li>・講座終了後、会員同士の交流が現状少ない。今後は、月1回程度、協働作業の場を設け、定期的に交流することとする。</li> </ul>
補助金が終了した場合の当該事業の見通し	協働委託事業や助成金等を申請検討・活用し、月に1回のプレーパークを開催する。また、新規スタッフへの講習・既存スタッフへの定期的内部講習を年間計画に組み込み、団体基盤を維持・強化していく。

※様式第8号「川越市提案型協働事業補助金実績報告書」に添付してください。

## 令和7年度川越市提案型協働事業補助金 事業実績報告書

協働事業名称	仲町地域交流会活動事業
団体名	仲町青陵会
市担当課名	地域づくり推進課
事業の目的	<p>「仲町地域交流会活動事業」は、仲町の子どもたちや次世代が自分の住む町の魅力を知るための事業です。仲町とはどのような町か、川越祭りに参加する町内ではどのようなことを行っているのかといった地域を知るきっかけとなり、地域の方々と交流を深めることで世代を越えた交流を促進する事業となります。</p> <p>また、新マンションの入居者が仲町で新たな環境になじめるようにすることを目的として、交流事業を通じて仲町の住民との接点を作り出します。</p> <p>今年度は、最終年として、同じ文化財を保有する他の町内との交流を図り、悩みの共有や仲町内の活動を確認しながら意見交換を行うことで地域が活性化することを目指します。</p> <p>町内ツアーでは、仲町に住む人々や商売をしているお店、そして蔵の街がどんな町なのか、子供たちが抱く疑問に答えることを目的としています。今後はこの事業を市内の次世代世帯への参加型交流事業へと発展させたいと考えています。</p>
事業の実施内容	<p>7月12日 仲町青陵会臨時総会 本年度活動概要説明  7月22日 仲町青陵会役員会 最終日程確定  8月19日 仲町青陵会役員会 資料作成  8月24日 川越市協働事業 仲町地域交流会活動事業  町探検及び交流会開催</p> <p>10月21日 コエトコにて打合せ 12月報告会事業の日程調整  11月14日 コエトコにて打合せ 12月報告会内容確認  12月 6日 仲町青陵会総会 事業の報告及びコエトコナイトについて説明  12月11日 コエトコナイトにて 仲町交流会活動事業3年間の報告会開催  1月27日 仲町青陵会役員会  仲町交流会活動事業清算業務確認及び清算業務</p>
事業実施時における市との役割分担	<p>【団体】交流会事業、報告会の企画・実施  [今後]まちの人々が交流を図ることで次世代の人材確保において重要な役割を果たすことが期待される。</p>
	<p>【市】事業に対するアドバイス 広報支援 庁内関係各課との連絡調整</p>
事業の成果	<p>事業の成果として、3年にわたり、行政や委員の皆様のご意見を反映し、多くのチャレンジングな事業を展開できたことが最大の成果です。新しいマンションとの交流も少しずつ進展し、関わる人数も増加しました。また、町探検では仲町の老舗店舗にご協力をいただき、店主からの話を伺ったり、お店の歴史などを学ぶ機会となりました。子供たちは、自分たちの住む地域が古い歴史を持っていることを学び、町の誇りを記憶に刻むことができたと思います。仲町は世帯数が少ないため、交流会活動事業を進めやすい環境が整っており、事業全体をスムーズに進めることができました。事業の内容をより多くの地域に知ってもらうため、コエトコにて報告会を実施できたことも成果だと考えています。最初は仲町と同様の十ヶ町を対象に意見交換会を行うことを考えていましたが、川越市全体で同様な状況が起きていることを感じたため、報告会は市民全体を対象とし、コエトコで開催できたことが大変有意義でした。</p>

<p>協働事業として 継続する場合の 課題と対応策</p>	<p>協働事業しての実施は今年度で終了となりますが、事業全体を考えたときの課題としては、世代別に合わせて事業内容を作らなければならないと分かりました。子供向けだけでは大人の参加が交流会事業に偏ってしまい、大人向けにすると子供の参加が減るなど、どちらの世代にもアピールできる事業形態にしなければならないということが反省点となります。</p>
<p>補助金が終了し た場合の当該事 業の見通し</p>	<p>補助金が終了後も3年間の蓄積を大切に仲町地域交流会事業は継続していく方針です。補助金に頼らず、仲町青陵会の身の丈に合った事業へ変更して発展的な活動へと展望したいと思います。</p>

※様式第8号「川越市提案型協働事業補助金実績報告書」に添付してください。

# 令和7年度川越市提案型協働事業補助金 事業実績報告書

協働事業名称	生きる力と平和の大切さについて共に考える授業
団体名	テレジンを語りつぐ会in川越
市担当課名	教育委員会教育指導課
事業の目的	野村路子氏(川越市在住)は30数年に渡って、ホロコーストの犠牲になったテレジン収容所子どもたちの絵を通して平和の大切さと命の尊さを語り続けている。生存者の取材から知りえた事実を生言葉で伝える力は大きい。生きる力を得て収容所の中で描いた絵の話と、活動を続けている野村氏の生き方から多くを学び取ってくれることを期待する。また、一人の学びが、共に考える場面を通して広がり深まることを目的としている。
事業の実施内容	訪問授業は、9月から3月までに小学校5校で6回、中学校3校で4回計10回実施し、1000人余りの児童生徒が授業をうけた。各校の希望や実態に合わせて実施し、学校によっては公開日にあてたので保護者の参観もあった。 野村氏はテレジンの子どもたちの絵を紹介しながら、ホロコースト生存者を取材した経験をもとに収容所の様子などをわかりやすく語られた。その講演を通して児童生徒が命や平和について共に考える機会が実現できた。講演終了後には野村氏の著書3冊と伝記1冊を贈呈した。 10月3日から6日間に渡って、中央図書館では展示会を行った。会期中に野村氏による講演やミニコンサートを行い、のべ約450人が来場した。
事業実施時における市との役割分担	【市】授業実施に向けて市内小中学校への働きかけ。希望調査、実施日の調整、打ち合わせシートの作成など事前準備。事前学習のデータを各校に配布。図書館展示会の場所確保。お知らせチラシの配布。 【団体】訪問授業校に出向いて打ち合わせを行った。各校の希望に合わせて、授業ができるように努めた。事前学習の大切さを伝えて資料の貸し出しもした。図書館展示に向けて掲示物の作成や準備をした。
事業の成果	10回の授業会場はどこも集中して話を聞く子どもたちの姿があった。事前学習で野村氏の教科書教材を読んである程度の知識を持っていることを前提に、野村氏の講演は始まった。短時間の学校では質問をまとめて伝えてもらい野村氏がそれに答える形にした。長く時間がとれる学校では、子ども同士の話し合いを入れることもできた。休憩時間があると野村氏のそばに来て質問する子もいていっそう親しみを持ってとらえることができたようだ。学校の希望をもとに時間設定をしたのだが、臨機応変に切り口を変えて児童生徒の興味関心を惹きつける講演内容は、心情を揺さぶるものであったようだ。後日送られた感想には、過去の事実を知ったことだけでなく現在起きている戦争についての考えや、永年の野村氏の活動や生き方について感銘を受けたことも綴られていた。また寄贈図書を読んだ感想もあったので、1度の講演で終わるのではないことが確かめられた。共に考える内容をさらに深めたい。 図書館の展示会は、各方面への働きかけにより内容を新しくでき、好評だった。野村氏の講演を聴きたいと訪れる人はたいへん多かった。
協働事業として継続する場合の課題と対応策	協働事業3年目をさらに充実させたい。訪問授業では教育指導課ならではの強力なバックアップを期待している。実施校との打合せを丁寧に行うとともに、児童生徒の思考を深めるための事前学習の資料を工夫したい。中央図書館の展示室の掲示物を充実させたり、視聴覚ホールでの野村氏の講演会、その他の活動を計画したりすると共に、多くの来場者を迎えらるるよう広報宣伝に努める。

## 令和7年度川越市提案型協働事業補助金 事業実績報告書

協働事業名称	川越リージョナルウインドオーケストラ特別演奏会
団体名	川越リージョナルウインドオーケストラ
市担当課名	文化芸術振興課
事業の目的	川越市民参加型の当演奏会を通じ参加者の学びと交流を深めながら、川越の音楽文化芸術の向上と魅力あるまちづくりに貢献することを目的とする。演奏会を開催するだけでなく、アカデミックな要素を取り入れ、音楽学術的にも演奏技術にも学びのある活動を提供する。
事業の実施内容	初回練習から10回の練習や講習を経て 2026年2月15日(日)特別演奏会を開催 開演13:30 会場:ウェスタ川越大ホール 指揮:後藤文夫(尚美学園教授)大滝実(埼玉県下総皖一音楽賞受賞) 演奏出演者69名 観客数実績623名 協賛企業6社、後援:川越市ほか尚美学園大学、東邦音楽大学など その他協力学校埼玉県立川越西高等学校、ほか5社
事業実施時における市との役割分担	【団体】 ・市内在住、在学、在勤で吹奏楽活動を希望する方に演奏機会を提供 ・2つの川越在所音楽大学(東邦音楽大学、尚美学園大学)と連携し川越の「音楽の学びの場」として音楽を作り上げる
	【市】 ①広報誌にて・団員募集の告知記事掲載・演奏会の告知と掲載 ②市の施設や公民館、文化施設などへのチラシ配布 ③演奏会当日の実施バックアップ(受付手伝いなど)
事業の成果	広報かわごえへの団員募集のお知らせから、公演情報、川越市内の文化施設への告知チラシなどの配布など、文化芸術振興課の皆様と一緒にこつこつ作り上げ、昨年より多い623名ものお客さんにご来場いただくことができ輝かしい2回目の演奏会開催となりました。 また川越所在の尚美学園大学と東邦音楽大学の2つの音楽大学との連携がより深くなり部活動地域移行の実証事業にもこの2音大と共に取り組みました。市長、副市長、教育長にも視察に来ていただける実証事業となりました。 今後の川越の音楽芸術の発展と明日の担い手である有望な若者たちに演奏の場を提供でき、日本を代表し1月にウィーン学友協会ホールに国際親善音楽交流演奏会に出演できました。なにより団員の尚美音大を3月卒業するメンバーから音楽教室の指導・演奏のプロを産出することもできました。素晴らしい協働の成果が出せたと思います。
協働事業として継続する場合の課題と対応策	集客力へつなげるブランド力を上げていく事に今後力を入れたいと思います。演奏技術は相当高い評価を多方面からいただいているので、広報力、資金力が課題だと思っています。また、川越から発信する音楽文化芸術を掲げていますが、まだ2度開催した程度では、まだまだ大きな輪を築いていけません。踏ん張って継続していくことが一番大事と感じています。精神的エネルギーも物理的な労力も、時間も、膨大に必要です。気持ちを失わず、今後も川越市と共に「川越は文化薫る街」と皆さんから言ってもらえるよう前に進んでいきたいと思っています。
補助金が終了した場合の当該事業の見通し	

※様式第8号「川越市提案型協働事業補助金実績報告書」に添付してください。

## 令和7年度川越市提案型協働事業補助金 事業実績報告書

協働事業名称	「小江戸川越ほの香」の川越キレイ物語
団体名	「小江戸川越ほの香」の川越キレイ物語実行委員会
市担当課名	観光課 資源循環推進課
事業の目的	花村えい子の生まれ故郷「川越」が今、食べ歩き、オーバーツーリズムによりゴミのポイ捨て問題に頭を抱えている中、昨年度の総選挙で選ばれた「小江戸川越ほの香」を使って、川越の魅力「食べ歩き」文化を残しつつゴミ問題を解決する。
事業の実施内容	持ち帰り用のゴミバッグをデザイン企画、生産をし、2月14日15日開催の「第四回芋パーク」イベントにて3000枚を無料配布。芋パークは約1万人の来場。 ゴミバッグの生産の一部に川越の「特定非営利活動団体 サポートあおい」様の協力を得る。 川越市内中学校の2月に実施された修学旅行において、旅行先での清掃活動時にゴミバッグ(50部)を使用。 観光地を汚さない工夫や「ツーリストシップ(観光者としての責任)」を学ぶ機会として活用された。使用後のバッグは持ち帰り、修学旅行後も日常生活の中で再利用していただく。
事業実施時における市との役割分担	【団体】 持ち帰り用のゴミバッグの企画、デザイン、生産、配布、協賛企業の開拓
	【市】 SNSなどでの広報活動。事業へのアドバイス。(中学校の修学旅行での使用の提案)
事業の成果	芋パークイベントは、天候にも恵まれ、約1万人の来場者がありゴミバッグを約2900枚配布。(50枚は修学旅行、50枚は審査員、協賛企業に提供) 芋パークイベントでは会場入り口にゴミの持ち帰りを呼びかける看板を設置、配布する際にゴミバッグの趣旨についてお客さんに伝えてもらうようお願いし、出店店舗にゴミバッグの配布を依頼した。 街でも持ち歩く方もいて、イベント会場に限らず川越観光でも利用され、ゴミ問題解決の可能性を感じた。  また、ゴミバッグ生産の一部で地域の障害者支援等の福祉推進活動をしている「サポートあおい」に協力を得たことで、障害者支援に関わることもできた。
協働事業として継続する場合の課題と対応策	ゴミバッグの生産費用が嵩み、協賛企業してもらえる企業をなかなかみつけられなかった。ゴミバッグの質が必要以上に良かったので、ある程度の質に下げて、単価も下げる。協賛企業を効率よく探す。
補助金が終了した場合の当該事業の見通し	

※様式第8号「川越市提案型協働事業補助金実績報告書」に添付してください。

## 令和7年度川越市提案型協働事業補助金 事業実績報告書

協働事業名称	川越若手社会人会議
団体名	川越若手社会人会議事務局
市担当課名	秘書室
事業の目的	<p>【事業目的】 川越で働く若手社会人が、勤務先の枠を超え、未来につながる「絆」を結び深めていくことを企図。川越の歴史を知り、現在の課題から課題解決にむけたグループワークを実施</p> <p>【事業内容】 グループワークを中心に運営し、課題認識・共有をふまえ、未来図を実現するために4ヶ月かけて対策を検討、成果を共有する</p>
事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月11日 川越若手社会人会議第一部(74名参加) 氷川神社にて今後の活動テーマの決定等グループワーク、巫女神職体験</li> <li>・7月17日 川越市立川越高等学校総合的な探求学習(5名参加) 川越市立川越高等学校の総合的な探求学習の授業内で川越の観光に関してディスカッションの実施</li> <li>・8月20日、21日 川越若手社会人会議 中間報告会(50名参加) 事務局と各チームでのグループワークの進捗確認</li> <li>・10月23日 川越若手社会人会議 第二部 成果共有会(66名参加) 養寿院にて取組み内容発表(川越市長報告・提案する優秀チームの決定)、地元企業龜屋社長の講義、座禅・焼香作法実習等の体験</li> <li>・11月13日 川越若手社会人会議 川越市長報告会 川越市長への報告・提案成果発表会、市担当部署からのフィードバック</li> <li>・12月初旬～1月20日 若手社会人会議参加企業への結果報告</li> </ul>
事業実施時における市との役割分担	<p>【団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の周知</li> <li>・参加者のサポート</li> </ul>
	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の施策等の情報提供</li> <li>・市の関係課への連絡調整</li> </ul>
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手ならではの視点や異業種間交流を重ねる中で、観光から農業、スポーツまで川越の地域活性化に向けた様々な分野で川越市各担当課様と協働、連携の実現 (農政課と協働し作成した農業ガイドを市内施設やSNS等で展開、ランニングマップの作成等)</li> <li>・参加者自身だけでなく、参加者の所属する企業同士を繋ぐ機会の創出による地域活性化への貢献</li> </ul>
協働事業として継続する場合の課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の事業取組みのための環境整備 事業内容の更なる発展には、参加者の時間確保に向け検討の余地あり。 次年度は参加者上司への説明・協力も仰ぐ等していきたい。</li> </ul>
補助金が終了した場合の当該事業の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催規模の再検討、もしくは事務局にて支出、また参加費</li> </ul>

※様式第8号「川越市提案型協働事業補助金実績報告書」に添付してください。

## 令和7年度川越市提案型協働事業補助金 事業実績報告書

協働事業名称	「～遊ぶ、真似ぶ、学ぶ～ 食育を田んぼに入って肌で体験する」事業																												
団体名	小江戸南古谷農園																												
市担当課名	産業観光部 農政課																												
事業の目的	小江戸南古谷農園は、「遊ぶ、真似ぶ、学ぶ」の精神を大切に、未来の子供たち、地球環境のために「食育」を肌で体験し、後世に伝える活動を行う。																												
事業の実施内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">7月5日～7月20日</td> <td style="width: 25%;">一貫農業体験(農業体験)</td> <td style="width: 25%;">朝、黒米田んぼ草抜き</td> <td style="width: 25%;">総人数18名、7回</td> </tr> <tr> <td>9月16日～10月7日</td> <td>一貫農業体験(農業体験)</td> <td>真菰刈り取り、はざ掛け、選別</td> <td>総人数9名、4回</td> </tr> <tr> <td>10月17日</td> <td>一貫農業体験(農業体験)</td> <td>黒米稲刈り、はざ掛け</td> <td>総人数13名、1回</td> </tr> <tr> <td>11月1日</td> <td>一貫農業体験(農業体験)</td> <td>黒米脱穀、籾摺り</td> <td>総人数6名、2回</td> </tr> <tr> <td>12月7日</td> <td>一貫農業体験(販売体験)</td> <td>黒米、真菰茶</td> <td>総人数5名、1回</td> </tr> <tr> <td>1月18日</td> <td>一貫農業体験(イベント)</td> <td>農業ふれあいフェスタin南古谷</td> <td>総人数850名、1回</td> </tr> <tr> <td>2月13日</td> <td>報告・振り返り会</td> <td>(農業ふれあいフェスタin南古谷)</td> <td></td> </tr> </table>	7月5日～7月20日	一貫農業体験(農業体験)	朝、黒米田んぼ草抜き	総人数18名、7回	9月16日～10月7日	一貫農業体験(農業体験)	真菰刈り取り、はざ掛け、選別	総人数9名、4回	10月17日	一貫農業体験(農業体験)	黒米稲刈り、はざ掛け	総人数13名、1回	11月1日	一貫農業体験(農業体験)	黒米脱穀、籾摺り	総人数6名、2回	12月7日	一貫農業体験(販売体験)	黒米、真菰茶	総人数5名、1回	1月18日	一貫農業体験(イベント)	農業ふれあいフェスタin南古谷	総人数850名、1回	2月13日	報告・振り返り会	(農業ふれあいフェスタin南古谷)	
7月5日～7月20日	一貫農業体験(農業体験)	朝、黒米田んぼ草抜き	総人数18名、7回																										
9月16日～10月7日	一貫農業体験(農業体験)	真菰刈り取り、はざ掛け、選別	総人数9名、4回																										
10月17日	一貫農業体験(農業体験)	黒米稲刈り、はざ掛け	総人数13名、1回																										
11月1日	一貫農業体験(農業体験)	黒米脱穀、籾摺り	総人数6名、2回																										
12月7日	一貫農業体験(販売体験)	黒米、真菰茶	総人数5名、1回																										
1月18日	一貫農業体験(イベント)	農業ふれあいフェスタin南古谷	総人数850名、1回																										
2月13日	報告・振り返り会	(農業ふれあいフェスタin南古谷)																											
事業実施時における市との役割分担	<b>【団体】</b> ・子供たちを中心に、「食育」を通じた地域のコミュニティづくり。 ・将来の川越の農業の担い手育成にもつながることから、地域を活性化。																												
	<b>【市】</b> ・イベント運営にかかるアドバイス ・Instagramを用いたPR ・農業ふれあいセンターと調整																												
事業の成果	◎事業の目的にそった成果が出来た。 ・本来の子供たちの笑顔が感じられた。 ・川越農業の繋がりを食べる人へお伝えできた。 ・地球環境、自然の営みを感じてもらえた。 ◎特に今回の一貫農業体験【イベント】 農業ふれあいフェスタin南古谷「遊ぶ、おいしい、つながる出会い」開催し、つくる人、食べる人との関係性を身近なものとして感じてもらえた。 感謝し合う関係性を築くことで「ありがとう」とお互いが想いを伝えることが出来た。 大人たちが縁側に座り語り、子供同士で遊ぶ姿が印象的でした。 川越の大切な事物をつなぐ一歩として進められました。  ありがとうございます。																												
協働事業として継続する場合の課題と対応策	今後の課題は規模を変えずに継続するための問題点 ・開催場所の代金をどのように工面していくか 対応策として ・出店者、企業等の支援・寄付などを集い運営する。																												
補助金が終了した場合の当該事業の見通し	今後も継続していく。身の丈に合った持続可能な事業を構築する。																												